



Security Service Edge (Netskope)

どこにいてもユーザとデータを保護する SSE プラットフォーム「Netskope」

Netskope は、CASB 機能に加えて次世代 SWG や ZTNA など取り入れ、クラウド利用におけるユーザの利便性向上とアクセスポリシー制御を同時に実現。

● ソリューションの特長

特長1 アクティビティとデータに対するきめ細かな制御機能

Netskope は 50,000 以上のサービスを可視化及び評価することに加えて、ユーザ ID 単位で各クラウドサービスログイン後の操作に対してもきめ細かく制御を実施することが可能です。

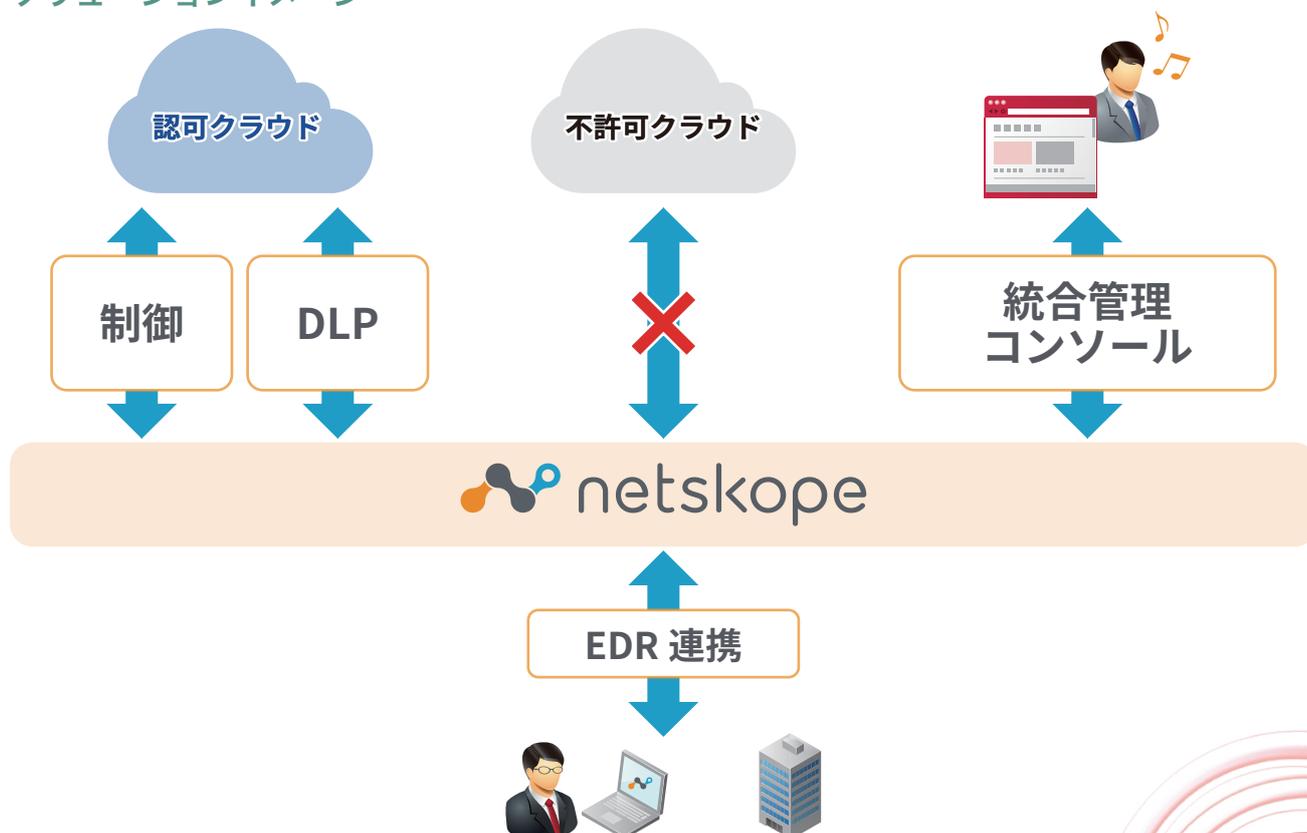
特長2 最新機能も含めて1つの管理コンソール上で運用が可能

CASB、SWG、ZTNAの提供ラインナップに加えて、FWaaS、DLP、Web分離、UEBA、CSPM / SSPM といった +αの付加価値機能を1つの管理コンソール上で提供することで運用負担削減に寄与することが可能です。

特長3 EDR連携によるゼロトラストセキュリティの実現

EDR 製品の特長であるリアルタイムのデバイスチェックや脅威スコアを Netskope へと共有することが可能なため、脅威スコアに応じた制御を Netskope 上で実現が可能です。また、IIJ Global では豊富な導入実績で得たノウハウを活かし、IDaaS、SIEM 等の連携まで含めたご提案も可能となります。

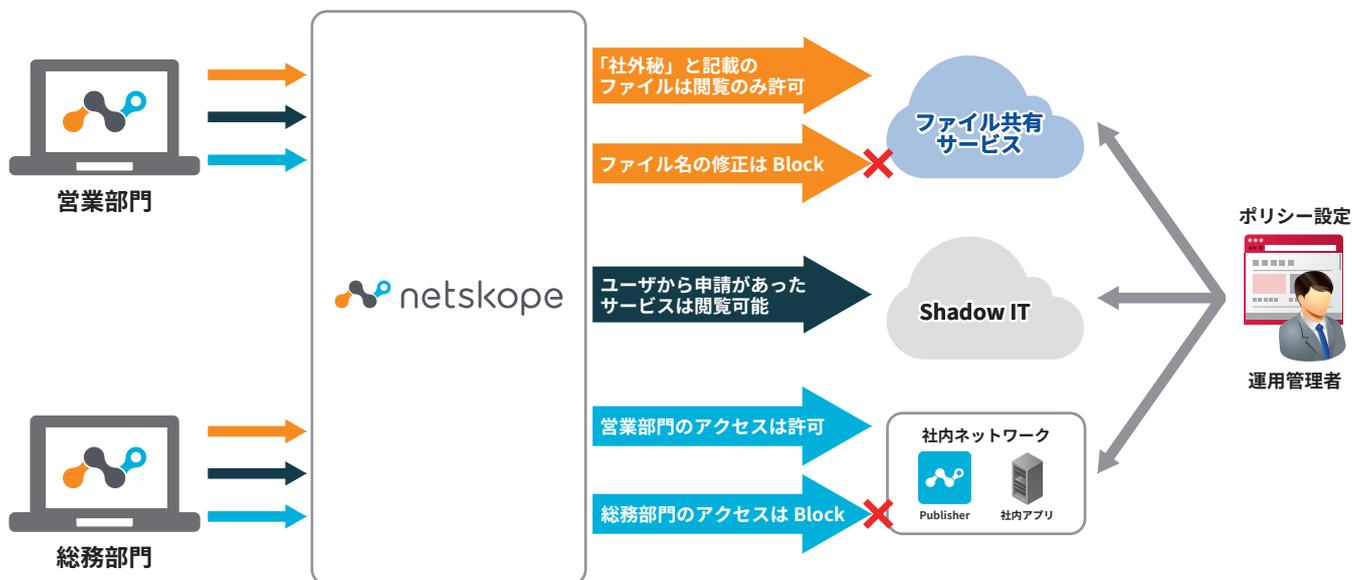
● ソリューションイメージ



クラウド利用時の挙動を細かく制御し、
データ保護による情報漏洩対策を実現



● 利用イメージ



● ソリューションメニュー

Netskopeライセンス

CASB/次世代SWG/ZTNA/CSPM/SSPM
※ご要件から必要ライセンスを選択

(年額)

・ PoC 手配、支援

・ コンサルティング

・ 設定/展開支援
・ 導入プロジェクト管理

・ 問い合わせ対応

(個別見積)

提案

申込・設計

導入・展開

運用

● 利用メリット



クラウドサービスへの リスクを評価

Netskopeでは現在50,000以上のサービスの可視化が可能となり、Shadow IT対策としての利用可否の判断情報を得ることが可能。



IaaSの設定不備や データ漏洩リスクに対応

IaaS環境(AWS、Azure、Google)に対しての設定情報が適切に設定されているかを統合管理することが可能。更にはIaaS環境においてもDLP機能の適用が可能。



個別最適から脱却 運用効率を劇的に改善

CASB機能の利用に加えて、プライベート環境へのアクセス制御やSWG機能におけるリスクサイトのWeb分離などSSEとして必要なコンポーネントを1つに実装。



IIJ Global

お問い合わせ

株式会社IIJ グローバルソリューションズ

E-Mail : info@iijglobal.co.jp

URL : www.iijglobal.co.jp

※ 本内容は、予告なく変更することがあります。(2022年7月作成)

※ 記載されている企業名あるいは製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。